

産業都市委員会

小松 快造 委員長 コメント

焼津市は、市民の防災意識向上のための体験型防災施設として防災学習室「しえ～る」を、同市消防防災センター内に平成29年3月30日リニューアルオープンしました。

この施設は、消防本部・災害拠点施設・公共施設などの施設の一角にあるタイプです。市民が気軽に立ち寄り家族で楽しみながら防災体験、防災学習ができるほか、半日または1日のツアー形式で本格的に学ぶこともでき、市民の防災意識を高めるのに大いに役立っていることが想像できます。富士宮市においても防災体験施設の必要性を感じさせられました。



▲焼津市消防防災センター防災学習室「しえ～る」

先進地視察

11/6～7

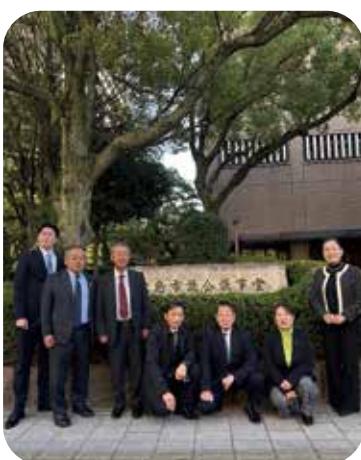
大阪市：阿倍野防災センター「あべのタスカル」にて体験型防災学習
広島市：平成26年8月豪雨災害被災地の復興まちづくりについて

大阪市では阪神淡路大震災直後を再現した体験学習を行いました。最新の防災知識や技術について説明を受け、助かる力、助ける力を学ぶことの重要性を感じました。

広島市では、平成26年8月豪雨災害被災地の復興まちづくり及び土砂災害防止対策について、激甚化・頻発化する災害に対して、砂防堰堤等の整備、避難路の整備、雨水排水施設等の整備、住宅再建の支援等の施策が重要な課題であると改めて認識しました。



◀大阪市立阿倍野防災センター「あべのタスカル」にて視察



◀広島市都市整備局
都市整備課にて視察